

# 2024年度 「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

～当金庫の取組み事例～

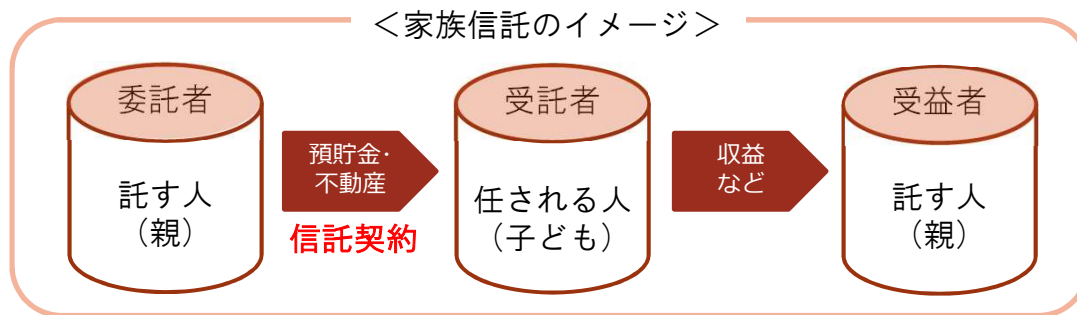
2025年9月



とよしんキャラクター  
フェニころ君

# 1.自治体等と協力した“安心の財産管理”への取り組み ～家族信託を通じた将来への備え～

- ・内閣府「令和6年度高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）」によると、**老後のために「財産管理に関する備え」が必要であると回答した方の割合は全体の1割以下**にとどまっています。財産管理の準備がない場合、口座が凍結されたり、家族が資産を動かせないといった事態が生じることがあります。
- ・こうした事態の予防策として注目されているのが「**家族信託**」です。これは、**将来、本人が判断できなくなった場合に備え、信頼できる家族に財産管理を任せる仕組み**です。元気なうちに契約を結ぶことで、自分や家族が安心して生活できる環境を整えておくことができます。
- ・**当金庫では、2020年度より自治体等と連携し、「家族信託」をテーマにした高齢者向けセミナーを開催**しています。2024年度は8回のセミナーを開催し、延べ242名の方にご参加いただきました。



＜参加者の声＞

- ・説明が分かりやすかった。
- ・家族と相談してみたい。など



2024年4月30日 益富地域包括支援センター「益富の楽園」にて

2024年度「家族信託」セミナー開催実績			
開催日	参加人数	開催日	参加人数
2024年4月30日（火）	36名	2025年1月17日（金）	40名
2024年5月25日（土）	16名	2025年1月19日（日）	45名
2024年6月22日（土）	39名	2025年2月16日（日）	17名
2024年8月 6日（火）	21名	2025年3月 8日（土）	28名

## 2.地域を育む“キャリア教育と金融学習” ～子どもたちへの講話と体験を通じた学び～

- ・子どもたちが「働くことの意味」や「お金との関わり方」を考えることは、将来の進路や生活設計に大きく役立ちます。近年は、早い段階で社会の仕組みや職業の役割を学ぶ「キャリア教育」や、消費者トラブルを未然に防ぐための「金融教育」の重要性が高まっています。
- ・当金庫では、地域の学校や教育委員会と連携し、次世代を担う子どもたちに向けた学習支援を行っています。地域の子どもたちが「働くこと」や「お金の大切さ」を学び、将来に向けて「安心して社会に踏み出す力」を育めるよう、これからも地域と一体となった活動を続けてまいります。
- ・この他にも、当金庫は愛知学院大学産学連携講座や愛知工業大学金融リテラシー教育など、将来を担う若者たちへの金融教育を継続的に実施しています。

子どもたちが「お金を実感できる」体験	
体験活動	体験のねらい
1億円の重さ体験	模擬札束を持ち上げることで「大きな金額のリアリティ」を直感的に理解し、お金を大切にすることを育みます。
札勘体験	模擬紙幣を数える体験を通じて、金融機関の仕事に必要な「正確さ」や「責任感」を感じてもらいます。



2025年1月15日 東郷町立諸輪小学校にて出前授業を実施しました。

### ■2024年度主な取組実績

取組時期	内容
2024年 7月	愛知県立豊田西高等学校1年生「職業講話」
12月	豊田市立逢妻中学校2年生「キャリア学習講演会」
2025年 1月	東郷町立諸輪小学校5年生「金融教育出前授業」
3月	愛知県立松平高等学校1,2年生「同窓生の話の聞く会」
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のためのお仕事ブック（愛知県版）協賛</li> <li>・小学生のためのお仕事ノート（豊田市版、みよし市版）協賛</li> </ul> ※金融業のお仕事紹介として、当金庫が掲載されています。